



Cisco Nexus Dashboard Insights サイト、
リリース 6.4.1 - Cisco NDFC または
スタンドアロン
NX-OS

目次

新規情報および変更情報	2
サイト.....	3
サイトについて.....	3
前提条件.....	3
注意事項と制約事項.....	4
サイトの追加.....	5
オンライン NDFC サイトの追加.....	5
コントローラなしでオンライン NX-OS サイトを追加する（スタンドアロン NX-OS サイト）	9
スナップショット サイトを追加します。	13
サイト詳細	14
マルチキャスト ルート	18
サイトの操作.....	20
著作権.....	21

初版：2024 年 3 月 6 日

米国本社

Cisco Systems, Inc.

170 West Tasman Drive

San Jose, CA 95134-1706 USA

<http://www.cisco.com>

Tel: 408 526-4000

800 553-NETS (6387)

Fax : 408 527-0883

新規情報および変更情報

次の表は、最新リリースまでの主な変更点の概要を示したものです。ただし、本リリースまでの変更点や新機能の一部は表に記載されていません。

表 1. Cisco Nexus Dashboard Insights の新機能と変更された動作

特長	説明	リリース	参照先
コントローラを使用しない NX-OS サイトのオンボーディング	スタンドアロン NX-OS ファブリックのサポート	6.4.1	コントローラなしでオンライン NX-OS サイトを追加する (スタンドアロン NX-OS サイト)
テレメトリのステータス	サイト レベルでテレメトリステータスを表示できるようになりました。	6.4.1	個々のサイトの詳細
時間選択	サイト ビューで時間範囲を選択できるようになりました。	6.4.1	個々のサイトの詳細

このドキュメントは、Cisco Nexus Dashboard Insights の GUI およびオンラインで www.cisco.com で入手できます。本書の最新バージョンに関しては、「[Cisco Nexus Dashboard Insights](#)」の「[Documentation](#)」を参照してください。

サイト

サイトについて

サイトとは、アプリケーションやエンドポイントへの接続を提供する一連のスイッチやその他のネットワーク デバイスから構成されるオンプレミス ネットワーク リージョンです。サイトをポッドなどのさまざまなアベイラビリティ ゾーンに分割できます。これらのゾーンは、Nexus Dashboard Insights によって分析および管理されます。

オンプレミスのサイトのタイプ

- ・ **オンライン サイト** : APIC や NDFC などのコントローラで表すことができ、テレメトリを継続的にストリーミングするために Nexus Dashboard Insights に接続できる、ACI または NX-OS を実行する複数の Nexus スイッチ。オンライン サイトのタイプは次のとおりです。
 - **ACI** : Cisco ACI を備え、Cisco APIC によって表される複数の Nexus スイッチ。
 - **NDFC** : Cisco NX-OS を搭載し、Cisco NDFC で表される複数の Nexus スイッチ。
 - **NX-OS** : コントローラなしで NX-OS を実行する Cisco Nexus 9000 スイッチのグループ。
- ・ **スナップショット サイト** : 1 回限りの分析またはデモンストレーションで使用するための、スナップショットによって参照されるコントローラベースのサイト。ネットワーク経由で Nexus Dashboard Insights に接続されている場合と接続されていない場合があります。

オンボーディングのためにサイトを準備する方法については、「[サイトの追加 \(Add Sites\)](#)」を参照してください。

NDFC サイトは、NX-OS を実行しているファブリックで構成されています。このファブリックは、NDFC によって完全に管理されるか、または監視だけされています。ファブリック内のすべてのスイッチをサイトの一部として分析できます。NX-OS ベースのファブリックでは、ファブリックは NDFC 管理対象ファブリックである場合もあれば、CLI、Ansible、またはその他の設定自動化メカニズムなど、他の手段を使用して設定されている場合もあります。構成管理に NDFC を使用していないファブリックの場合、NDFC をインストールし、ファブリックを読み取り専用モードまたはモニター モードで検出する必要があります。Nexus Dashboard Insights は、NDFC を使用してトポロジ ディスカバリを行い、ファブリック内のスイッチの役割を識別します。

NX-OS サイトは、コントローラなしで NX-OS を実行し、Nexus ダッシュボードに接続されている Nexus 9000 スイッチで構成されます。

サイトがオンボーディングされ、完全に準備されると、{CiscoNIRShortName} はサイト分析を開始してサイトからデータを収集し、[**サイト (Sites)**] ページにサイト情報を表示します。「[サイトの詳細](#)」を参照してください。そこから、サイトの一般情報、インベントリ、L2 および L3 接続、エンドポイント、異常、アドバイザリなどを表示できます。詳細については、「[サイトの詳細](#)」を参照してください。

前提条件

- ・ ファブリックで DNS を構成しています。
- ・ ファブリックで NTP を構成しています。
- ・ ファブリックで PTP を構成しています
- ・ スイッチのループバック インターフェイスを使用してインバンド管理ネットワークを構成し、Nexus Dashboard データ インターフェイスがそれらへの接続をルーティングしています。

- ・スイッチが NDFC によって制御され、アウトオブバンド管理インターフェイスを使用して検出された場合、Nexus Dashboard のデータインターフェイスはそれらへの接続をルーティングする必要があります。
- ・Cisco Nexus Dashboardでファブリック接続を設定しておきます。「[Cisco Nexus Dashboard プラットフォームの概要](#)」を参照してください。
- ・ファブリックでサポートされているソフトウェアバージョンがあります。「[Nexus Dashboard とサービス 互換性マトリックス](#)」を参照してください。
- ・スナップショット サイトの場合、システムに Python3 がインストールされています。
- ・コントローラなしで NX-OS サイトをオンボードするには、次の手順を実行します。
 - Nexus Dashboard で NX-OS 検出を有効にする必要があります。
 - Nexus スイッチでは CDP または LLDP を有効にする必要があります。
 - Nexus スイッチの管理 IP アドレスは、Nexus Dashboard 管理ネットワークに到達可能である必要があります。
 - Nexus スイッチのインバンド ポート アドレスは、ループバック インターフェイスで設定し、Nexus Dashboard データ ネットワークに到達可能である必要があります。
- ・次のコマンドを使用して、{CiscoNIRShortName} のサイトをオンボーディングする前に、CLI プロンプトですべての Cisco NX-OS スイッチで NX-API 機能を有効にする必要があります。

```
switch(config)# feature nxapi
```

注意事項と制約事項

- ・ {CiscoNIRShortName} の [手動追加 (**Manually Add**)] オプションを使用して、リモート認証を使用して NDFC サイトをオンボードすることはできません。最初に、Nexus Dashboard でリモート認証を使用して NDFC サイトを追加する必要があります。その後、NDI の [追加準備完了 (**Ready to Add**)] オプションを使用して NDFC サイトをオンボーディングできます。
- ・スイッチ名またはホスト名は、Nexus Dashboard Insights で検出されたすべてのファブリックで一意である必要があります。
- ・Cisco NX-OS スイッチの場合、SVI インターフェイスは表示されません。

コントローラのない **NX-OS** サイト (スタンドアロン **NX-OS** サイト) の注意事項と制約事項

- ・フロー テレメトリのコンテキストでのインターフェイス フロー ルールはサポートされていません。
- ・接続分析はサポートされていません。
- ・スナップショット サイトのオンボーディングはサポートされていません。
- ・コントローラを使用しない NX-OS サイトのオンボーディングは、Cisco NX-OS リリース 9.3(10) 以降でサポートされています。
- ・コントローラを使用しないオンライン NX-OS サイトのオンボーディングは、物理 Nexus Dashboard クラスタでのみサポートされます。コントローラを使用しないオンライン NX-OS サイトのオンボーディングは、仮想 Nexus Dashboard クラスタではサポートされていません。
- ・スタンドアロン NX-OS サイトと ACI サイトを同じ Nexus Dashboard クラスタに導入準備することはできません。
- ・NX-OS スタンドアロン サイトのオンボードでは、Nexus Dashboard Insights 展開モードのみがサポートされています。

ートされています。次の展開モードはサポートされておらず、NX-OS スタンドアロンサイトをオンボーディングするために NX-OS

ディスカバリを有効にするオプションは使用できません。

- NDI および NDFC
- NDI および NDO
- ・ コントローラを使用しない NX-OS サイトのオンボーディングは、Cisco Nexus 9000 製品ファミリーでのみサポートされます。

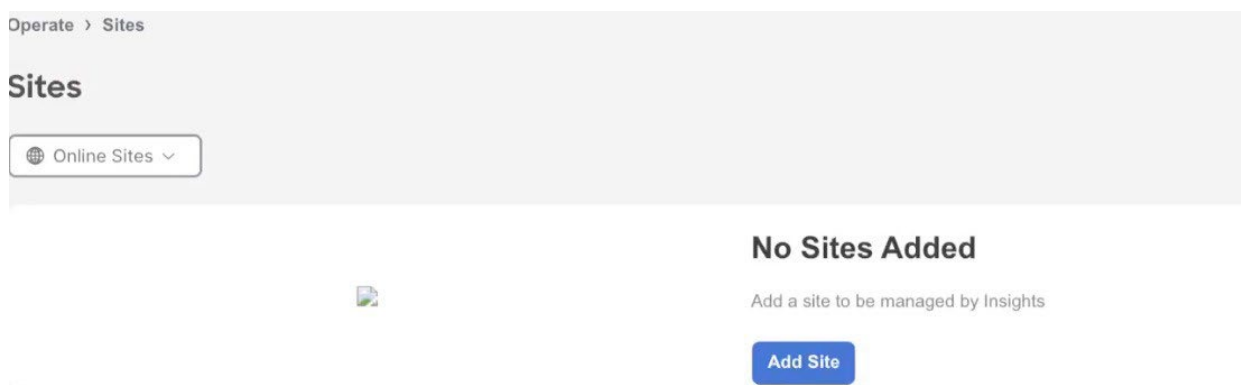
サイトの追加

次の方法を使用して、Nexus Dashboard Insightsにサイトを追加できます。

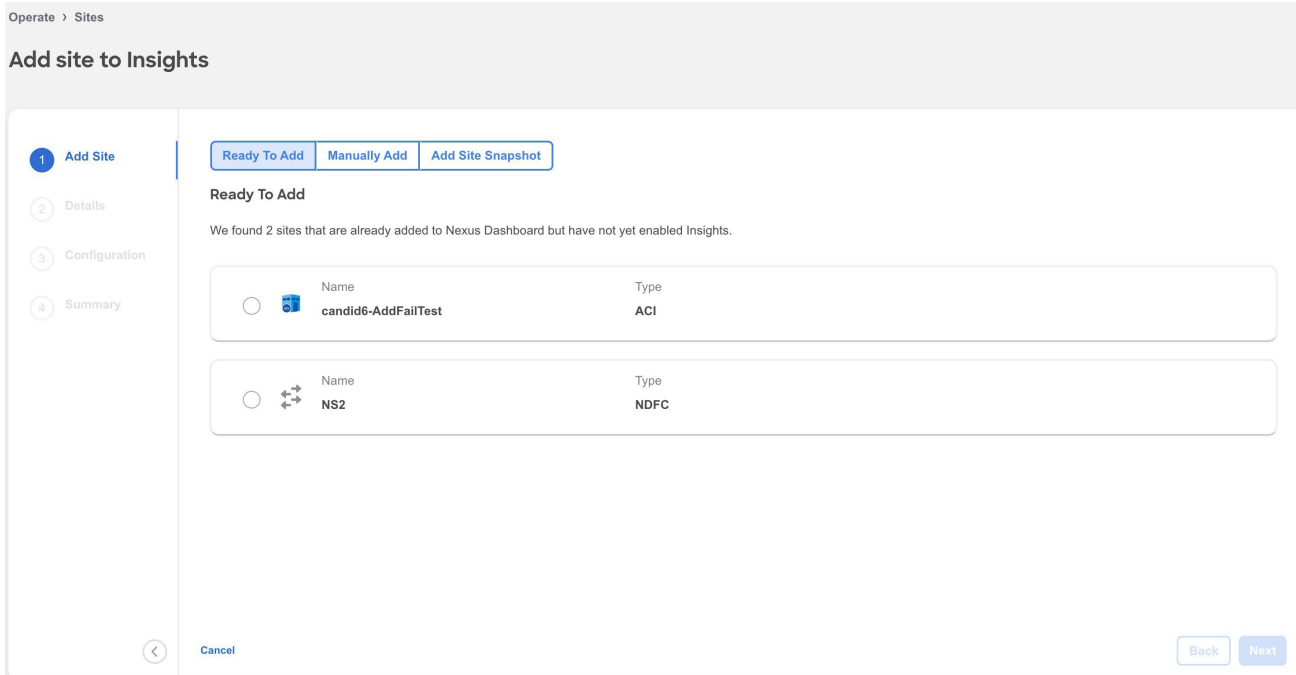
- ・ オンラインサイト
 - Nexus Dashboard にすでに追加されているサイトを有効にします。Nexus Dashboard クラスタに追加されたサイトは、デフォルトではサービスで有効になっていないため、Nexus Dashboard Insights から直接明示的に有効にする必要があります。
 - Nexus Dashboard にサイトを追加し、Nexus Dashboard Insights の単一のワークフローでサイトを有効にします。
- ・ サイトのスナップショット
 - スナップショット サイトを追加します。

オンライン NDFC サイトの追加

1. [管理 (Manage)] > [サイト (Sites)] に移動します。
2. [サイトの追加 (Add Site)] をクリックします。
 - a. 初めて {CiscoNIRShortName} にサイトを追加する場合は、次のメッセージが表示されます。[サイトの追加 (Add Site)] をクリックして続行します。



3. Nexus Dashboard にすでに追加されているサイトを有効にするには、[追加準備完了 (Ready to Add)] を選択します。Nexus Dashboard に追加されたサイトが表示されます。Nexus Dashboard にサイトを追加するには、『[Cisco Nexus Dashboard Sites Management](#)』を参照してください。



4. [追加準備完了 (Read to Add)] の次のフィールドを入力します。
 - a. NDFC サイトを選択します。
 - b. [次へ (Next)] をクリックします。
 - c. マップからサイトの場所を選択して、Nexus Dashboard でサイトを識別します。
 - d. [次へ (Next)] をクリックします。

- e. [ファブリック タイプ (Fabric Type)] ドロップダウン メニューから、ファブリック タイプを選択します。[Classic]、[VXLAN]または[SR-MPLS]の選択肢があります。NX-OS ファブリックで SR-MPLS のフローを設定するには、SR-MPLS のオプションを選択します。Enhanced Classic LAN は NDFC サイトではサポートされていません。
- f. [ファブリック モード (Fabric Mode)] ドロップダウン メニューから、ファブリック モードを選択します。オプションは、[管理 (Managed)] または [モニター (Monitored)] です。管理対象モードでは、Nexus Dashboard Insights はファブリック内のすべてのスイッチにテレメトリ設定を展開します。モニター対象モードでは、Nexus Dashboard Insights はファブリック内のすべてのスイッチにテレメトリ設定を展開しません。

- g. トグルを使用して、IPv4 または IPv6 を選択してサイトをオンボードします。Nexus Dashboard Insights は、この設定に基づいて、このサイトからテレメトリを受信するようにコレクタを構成します。この設定は、サイトのIPアドレス構成と一致している必要があります。
- h. [ループバック (Loopback)] フィールドに、Nexus Dashboard のインバンド IP アドレスへの接続を提供するスイッチに設定されているループバックを入力します。
- i. [VRF] フィールドに、ループバック インターフェイスに関連付けられた VRF 名を入力します。これは、Nexus ダッシュボードのインバンド IP アドレスへの接続を提供する VRF です。

ヒ

デフォルトおよびデフォルト以外のVRFがサポートされています。VXLAN/EVPNアプリケーションでは、これらはアンダーレイの一部である必要があります。

- j. スイッチ ログイン情報の[ユーザー名 (User Name)]と[パスワード (Password)]フィールドで、追加するサイトで**管理者**権限を持つ LAN ユーザーのログイン情報を示します。
 - k. リストにスイッチを追加し、スイッチのログイン情報が上記のデフォルトのログイン情報と一致しない場合にのみ、[スイッチ ログイン情報の追加 (Add Switch Credentials)]をクリックします。
 - i. [スイッチ名 (Switch Name)]フィールドに、スイッチの名前を入力します。
 - ii. [スイッチIP (Switch IP)]フィールドに、スイッチのIPアドレスを入力します。
 - iii. [スイッチ ユーザー名 (Switch Username)]フィールドに、スイッチのユーザー名を入力します。
 - iv. [スイッチ パスワード (Switch Password)]フィールドに、パスワードを入力します。
 - l. チェックマークをオンにしてエントリを追加し、必要に応じてスイッチを追加します。
 - m. [次へ (Next)]をクリックします。
 - n. 設定を確認します。
 - o. [送信 (Submit)]をクリックします。
5. Nexus Dashboard にサイトを追加し、Nexus Dashboard Insights を使用してサイトを有効にするには、[手動で追加 (Manually Add)]を選択します。

Add site to Insights

You can add an ACI or NDFC controller to be part of a site.

[What is a Site?](#) | [How to prepare your ACI and NX-OS Site for Insights?](#)

1 Add Site

2 Details

3 Configuration

4 Summary

Ready To Add **Manually Add** Add Site Snapshot

Controller Based Fabric

NX-OS Standalone Fabric

Hostname*

Username*

Password*

Domain ⓘ

6. [手動で追加 (Manually Add)] の次のフィールドを入力します。
 - a. [コントローラベースのファブリック (Controller Based Fabric)] を選択します。
 - b. [ホスト名 (Hostname)] フィールドに、サイトのコントローラとの通信に使用する IP アドレスを入力します。
 - c. [ユーザー名 (User Name)] と [パスワード (Password)] フィールドに、追加するサイトで**管理者**権限を持つユーザーのログイン情報を指定します。
 - d. [ドメイン (Domain)] フィールドで、コントローラのログインドメイン名を入力します。
 - e. [次へ (Next)] をクリックします。
 - f. Nexus Dashboard でサイトを識別するためのサイト名を入力します。
 - g. マップからサイトの場所を選択して、Nexus Dashboard でサイトを識別します。
 - h. [次へ (Next)] をクリックします。
 - i. [ファブリック タイプ (Fabric Type)] ドロップダウン メニューから、ファブリック タイプを選択します。[Classic]、[VXLAN]または[SR-MPLS]の選択肢があります。NX-OS ファブリックで SR-MPLS のフローを設定するには、SR-MPLS のオプションを選択します。Enhanced Classic LAN は NDFC サイトではサポートされていません。
 - j. [ファブリック モード (Fabric Mode)] ドロップダウン メニューから、ファブリック モードを選択します。オプションは、[管理 (Managed)] または [モニター (Monitored)] です。管理対象モードでは、Nexus Dashboard Insights はファブリック内のすべてのスイッチにテレメトリ設定を展開します。モニター対象モードでは、Nexus Dashboard Insights はファブリック内のすべてのスイッチにテレメトリ設定を展開しません。
 - k. トグルを使用して、IPv4 または IPv6 を選択してサイトをオンボードします。Nexus Dashboard Insights は、この設定に基づいて、このサイトからテレメトリを受信するようにコレクタを構成します。この設定は、サイトのIPアドレス構成と一致している必要があります。
 - l. [ループバック (Loopback)] フィールドに、Cisco Nexus Dashboard のインバンド IP アドレスへの接続を提供するスイッチに設定されているループバックを入力します。

- m. **[VRF]** フィールドに、ループバック インターフェイスに関連付けられた VRF 名を入力します。これは VRF です。

VRF は、Nexus ダッシュボードのインバンド IP アドレスへの接続を提供します。

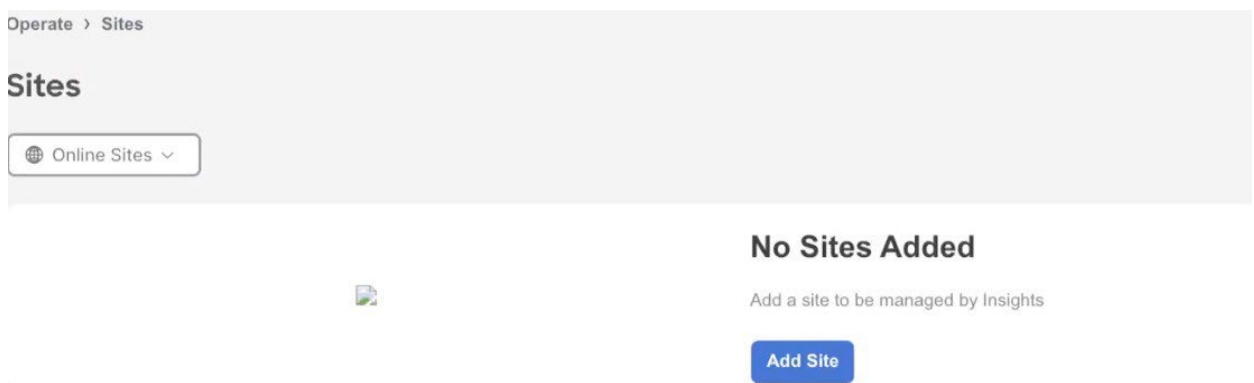
ヒ

デフォルトおよびデフォルト以外のVRFがサポートされています。VXLAN/EVPNアプリケーションでは、これらはアンダーレイの一部である必要があります。

- n. スイッチ ログイン情報の[ユーザー名 (**User Name**)]と[パスワード (**Password**)]フィールドで、追加するサイトで**管理者**権限を持つ LAN ユーザーのログイン情報を示します。
- o. リストにスイッチを追加し、スイッチのログイン情報が上記のデフォルトのログイン情報と一致しない場合にのみ、[スイッチ ログイン情報の追加 (**Add Switch Credentials**)]をクリックします。
- [スイッチ名 (**Switch Name**)]フィールドに、スイッチの名前を入力します。
 - [スイッチIP (**Switch IP**)]フィールドに、スイッチのIPアドレスを入力します。
 - [スイッチ ユーザー名 (**Switch Username**)]フィールドに、スイッチのユーザー名を入力します。
 - [スイッチ パスワード (**Switch Password**)]フィールドに、パスワードを入力します。
- p. チェックマークをオンにしてエントリを追加し、必要に応じてスイッチを追加します。
- q. [次へ (**Next**)]をクリックします。
- r. 設定を確認します。
- s. [送信 (**Submit**)]をクリックします。

コントローラなしでオンライン **NX-OS** サイトを追加する (スタンドアロン **NX-OS** サイト)

- [管理 (**Manage**)] > [サイト (**Sites**)]に移動します。
- [サイトの追加 (**Add Site**)]をクリックします。
 - 初めて {CiscoNIRShortName} にサイトを追加する場合は、次のメッセージが表示されます。[サイトの追加 (**Add Site**)]をクリックして続行します。



- Nexus Dashboard にすでに追加されているサイトを有効にするには、[追加準備完了 (**Ready to Add**)]を選択します。Nexus Dashboard に追加されたサイトが表示されます。Nexus Dashboard にサイトを追加するには、『[Cisco Nexus Dashboard Sites Management](#)』を参照してください。
- [追加準備完了 (**Ready to Add**)]の次のフィールドを入力します。

Add site to Insights

You can add an ACI or NDFC controller to be part of a site.

[What is a Site?](#) | [How to prepare your ACI and NX-OS Site for Insights?](#)

The screenshot shows the 'Add Site' step in the 'Add site to Insights' process. The left sidebar has 'Add Site' selected. The main content area has three tabs: 'Ready To Add', 'Manually Add', and 'Add Site Snapshot'. Under 'Ready To Add', there is a message: 'We found 1 sites that are already added to Nexus Dashboard but have not yet enabled Insights.' Below this is a table with one row:

Name	Type	Switches
DC-NDI-N02-PND	NX-OS	6

- NX-OS サイトを選択します。
- [次へ (Next)] をクリックします。
- マップからサイトの場所を選択して、Nexus Dashboard でサイトを識別します。

Add site to Insights

You can add an ACI or NDFC controller to be part of a site.

[What is a Site?](#) | [How to prepare your ACI and NX-OS Site for Insights?](#)

The screenshot shows the 'Details' step in the 'Add site to Insights' process. The left sidebar has 'Details' selected. The main content area has a 'Details' section with the text: 'Now add a name and location to identify each site on Nexus Dashboard'. Below this is a table with one row:

Name	Type	Switches
DC-NDI-N02-PND	NX-OS	6

Below the table is a 'General' section with two fields:

Name*

Nearest Town or City*
 [See on map](#)

- [次へ (Next)] をクリックします。

Add site to Insights

You can add an ACI or NDFC controller to be part of a site.

[What is a Site?](#) | [How to prepare your ACI and NX-OS Site for Insights?](#)

The screenshot shows the 'Configuration' step in the 'Add site to Insights' process. The left sidebar has 'Configuration' selected. The main content area has a 'Configuration' section with a 'General' subsection. The 'Fabric Type*' field is a dropdown menu with 'VXLAN' selected. The 'Insights Collector Information' section has a toggle switch for 'IPv4' (checked) and 'IPv6' (unchecked). The 'Loopback*' field is a text input with '0' entered. The 'VRF*' field is a text input with 'default' entered.

- e. [ファブリック タイプ (Fabric Type)] ドロップダウン メニューから、ファブリック タイプを選択します。[Classic]、[VXLAN]または[SR-MPLS]の選択肢があります。NX-OS ファブリックで SR-MPLS のフローを設定するには、SR-MPLS のオプションを選択します。
- f. トグルを使用して、IPv4 または IPv6 を選択してサイトをオンボードします。Nexus Dashboard Insights は、この設定に基づいて、このサイトからテレメトリを受信するようにコレクタを構成します。この設定は、サイトのIPアドレス構成と一致している必要があります。
- g. [ループバック (Loopback)] フィールドに、Cisco Nexus Dashboard のインバンド IP アドレスへの接続を提供するスイッチに設定されているループバックを入力します。
- h. [VRF] フィールドに、ループバック インターフェイスに関連付けられた VRF 名を入力します。これは、Nexus ダッシュボードのインバンド IP アドレスへの接続を提供する VRF です。

ヒ

デフォルトおよびデフォルト以外のVRFがサポートされています。VXLAN/EVPNファブリックでは、これらはアンダーレイの一部である必要があります。

- i. [次へ (Next)] をクリックします。
 - j. 設定を確認します。
 - k. [送信 (Submit)] をクリックします。
5. Nexus Dashboard にサイトを追加し、Nexus Dashboard Insights を使用してサイトを有効にするには、[手動で追加 (Manually Add)] を選択します。
6. [手動で追加 (Manually Add)] の次のフィールドを入力します。

Ready To Add **Manually Add** Add Site Snapshot

Controller Based Fabric

Add your fabric's host name/IP address and login information below to fetch your fabric and add it to Nexus Dashboard.

Controller Based Fabric **NX-OS Standalone Fabric**



NX-OS Discovery

You need to enable fabric discovery in order to add NX-OS switches. This may take a few moments.

Enable NX-OS Discovery

- a. [NX-OS スタンドアロン ファブリック (NX-OS Standalone Fabric)] を選択します。
- b. [NX-OS 検出の有効化 (Enable NX-OS Discovery)] をクリックして、Nexus Dashboard で NX-OS 検出を有効にします。

Add site to Insights

You can add an ACI or NDFC controller to be part of a site.

[What is a Site?](#) | [How to prepare your ACI and NX-OS Site for Insights?](#)

- c. [シードスイッチ IP アドレス (**Seed Switch IP Address**)] フィールドにシード スイッチ管理 インターフェイスの IP アドレスを入力します。
- d. [ユーザー名 (**User Name**)]と [パスワード (**Password**)] フィールドに、追加するスイッチで **管理者**権限を持つユーザーのログイン情報を指定します。
- e. [認証プロトコル (**Authentication Protocol**)] ドロップダウン リストから、認証に使用するプロトコルを選択します。
- f. [次へ (**Next**)] をクリックします。

Add site to Insights

You can add an ACI or NDFC controller to be part of a site.

[What is a Site?](#) | [How to prepare your ACI and NX-OS Site for Insights?](#)

- g. Nexus Dashboard でサイトを識別する NX-OS サイト名を入力します
- h. マップから NX-OS サイトの場所を選択して、Nexus Dashboard でサイトを識別します。
- i. サイトに追加するスイッチを選択します

j. [次へ (Next)] をクリックします。

Add site to Insights

You can add an ACI or NDFC controller to be part of a site.

[What is a Site?](#) | [How to prepare your ACI and NX-OS Site for Insights?](#)

✓ Add Site

✓ Details

✓ Switch Selection

4 Configuration

5 Summary

Configuration

Name	Type	Seed Switch
DC-NDI-N02-PND	NX-OS	

General

Fabric Type*

VXLAN

Insights Collector Information ⓘ

IPv4 IPv6

Loopback*

0

VRF*

default

- k. [ファブリック タイプ (Fabric Type)] ドロップダウン メニューから、ファブリック タイプを選択します。[Classic]、[VXLAN]または[SR-MPLS]の選択肢があります。NX-OS ファブリックで SR-MPLS のフローを設定するには、SR-MPLS のオプションを選択します。
- l. トグルを使用して、IPv4 または IPv6 を選択してサイトをオンボードします。Nexus Dashboard Insights は、この設定に基づいて、このサイトからテレメトリを受信するようにコレクタを構成します。この設定は、サイトのIPアドレス構成と一致している必要があります。
- m. [ループバック (Loopback)] フィールドに、Cisco Nexus Dashboard のインバンド IP アドレスへの接続を提供するスイッチに設定されているループバックを入力します。
- n. [VRF] フィールドに、ループバック インターフェイスに関連付けられた VRF 名を入力します。これは、Nexus ダッシュボードのインバンド IP アドレスへの接続を提供する VRF です。

ヒ

デフォルトおよびデフォルト以外のVRFがサポートされています。VXLAN/EVPNファブリックでは、これらはアンダーレイの一部である必要があります。

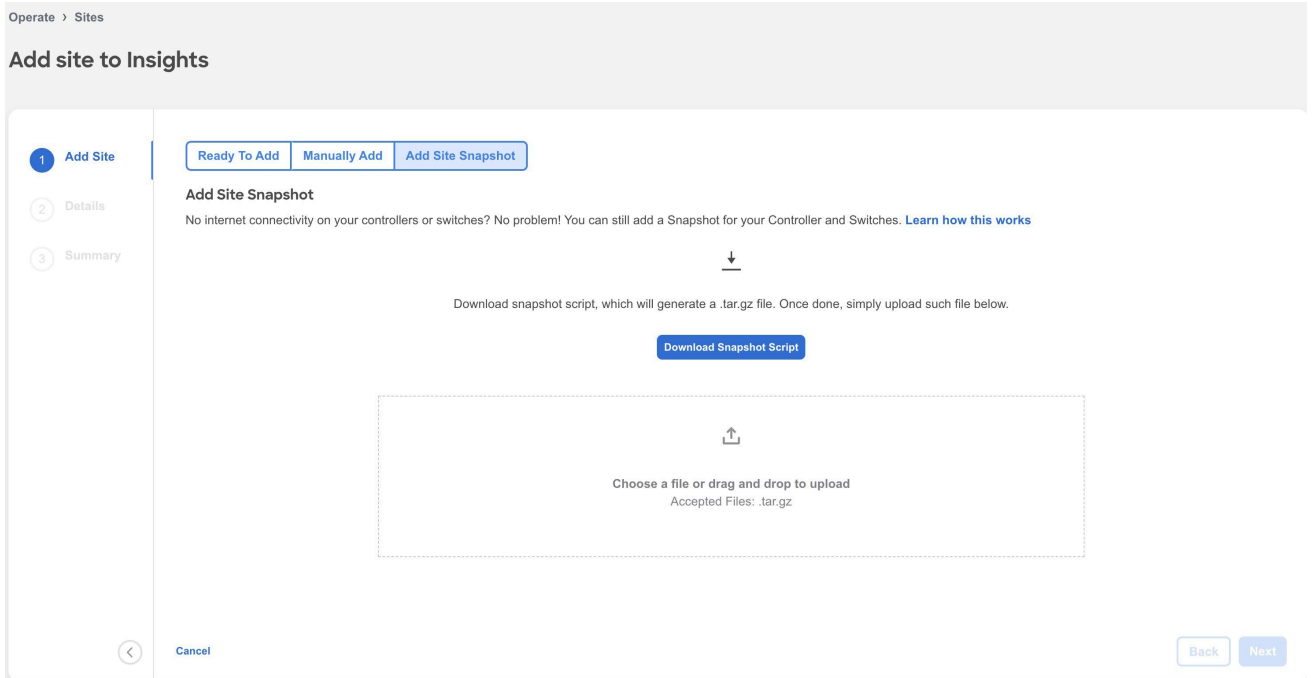
o. [次へ (Next)] をクリックします。

p. 設定を確認します。

q. [送信 (Submit)] をクリックします。

スナップショット サイトを追加します。

1. [管理 (Manage)] > [サイト (Sites)] に移動します。
2. [サイトの追加 (Add Site)] をクリックします。
3. スナップショット サイトを追加するには、[サイトのスナップショットの追加 (Add Site Snapshot)] を選択します。



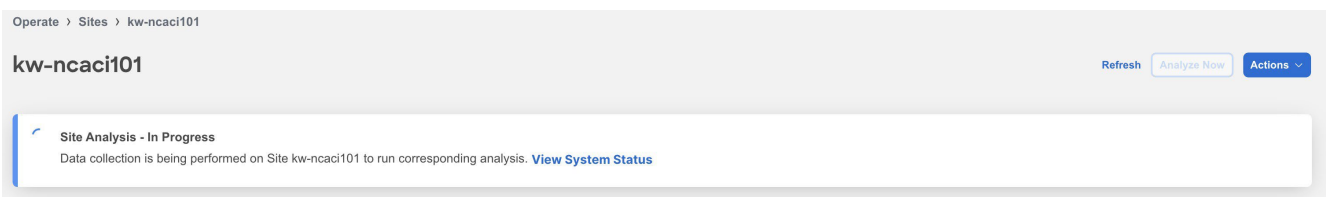
4. [スナップショット スクリプトのダウンロード (Download Snapshot Script)] をクリックして、[data-collectors.tar.gz](#) をマシンにダウンロードします。
5. ダウンロードしたファイルを抽出し、データ収集スクリプトを実行します。readme.md ファイルのセクションの指示に従ってください。スクリプトが正常に完了すると、データは [<filename>.tar.gz](#) ファイルに収集されます。



収集スクリプトを使用するには、システムに Python3 がインストールされている必要があります。

6. Nexus Dashboard Insightsにファイルをアップロードし、[次へ (Next)] をクリックします。
7. Nexus Dashboard でサイトを識別するためのサイト名を入力します。
8. マップからサイトの場所を選択して、Nexus Dashboard でサイトを識別します。
9. [次へ (Next)] をクリックします。
10. 設定を確認します。
11. [送信 (Submit)] をクリックします。

サイトがオンボーディングされ、完全に準備されると、{CiscoNIRShortName} はサイト分析を開始してサイトからデータを収集し、[サイト (Sites)] ページにサイト情報を表示します。「[サイトの詳細](#)」を参照してください。[サイト分析 (Site Analysis)] バナーに分析の進行状況が表示されます。分析の実行時間は、ファブリックのサイズによって異なります。



サイト詳細

{CiscoNIRShortName} では、グローバル ビュー により、すべてのサイトのグローバル ネットワーク インフラストラクチャの概要が表示されます。[サイト (Sites)] ページには、個々のサイトの詳細が表示されます。

グローバル ビューのサイトの詳細

最初のサイトを追加すると、グローバル ビュー に、すべてのサイトのグローバル ネットワーク インフラストラクチャ、その場所、および主要な正常性メトリックが表示されます。

[概要 (Overview)] > [グローバル ビュー (Global View)] に移動します。

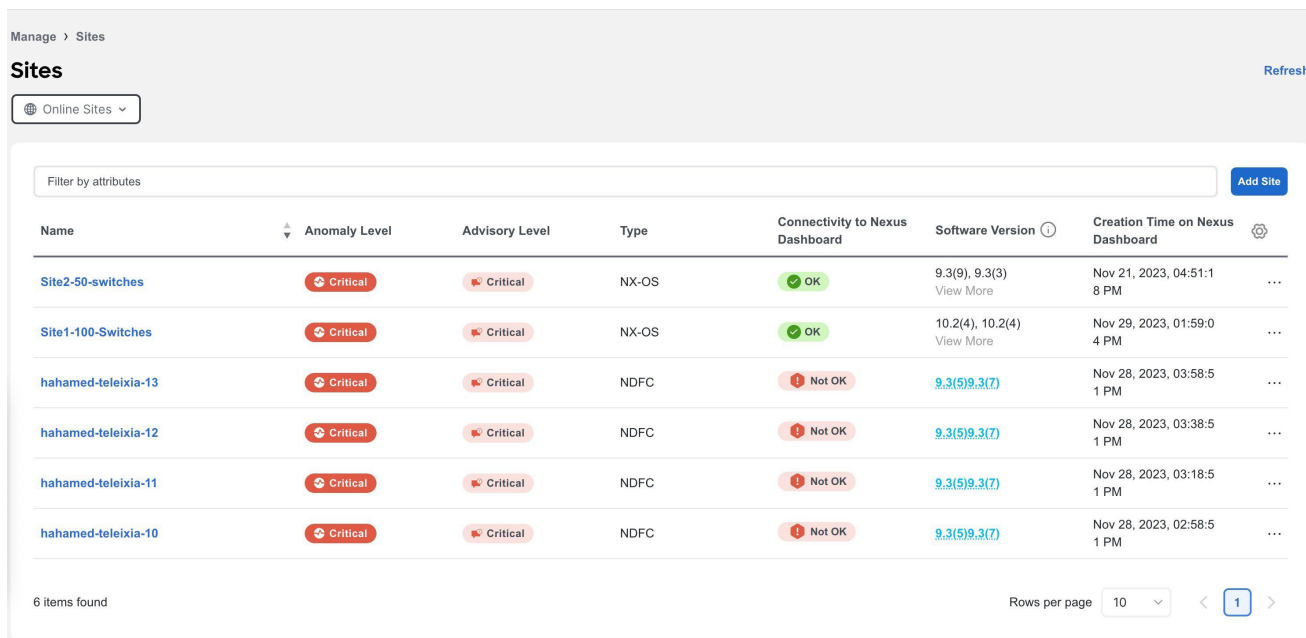
マップには、各大陸のサイトの物理的な場所と合計数、およびそれらの名前が視覚的に表示されます。サイトをクリックしてそのサイトの詳細に直接ジャンプするか、[サイト (Sites)] 領域まで下にスクロールしてサイトに移動します。ページのズーム コントロール アイコンを使用して、マップの表示を変更することもできます。

[サイト (Sites)] 領域で、個々のサイトの概要を確認できます。これには、異常とアドバイザリの正常性レベル、転送された合計データを含むサイト外部トラフィック、およびエンドポイントとレイヤ 3 ネイバーの接続データが含まれます。グローバルビューのサイトについては、「[ジャーニーとグローバルビュー](#)」を参照してください。

個々のサイトの詳細

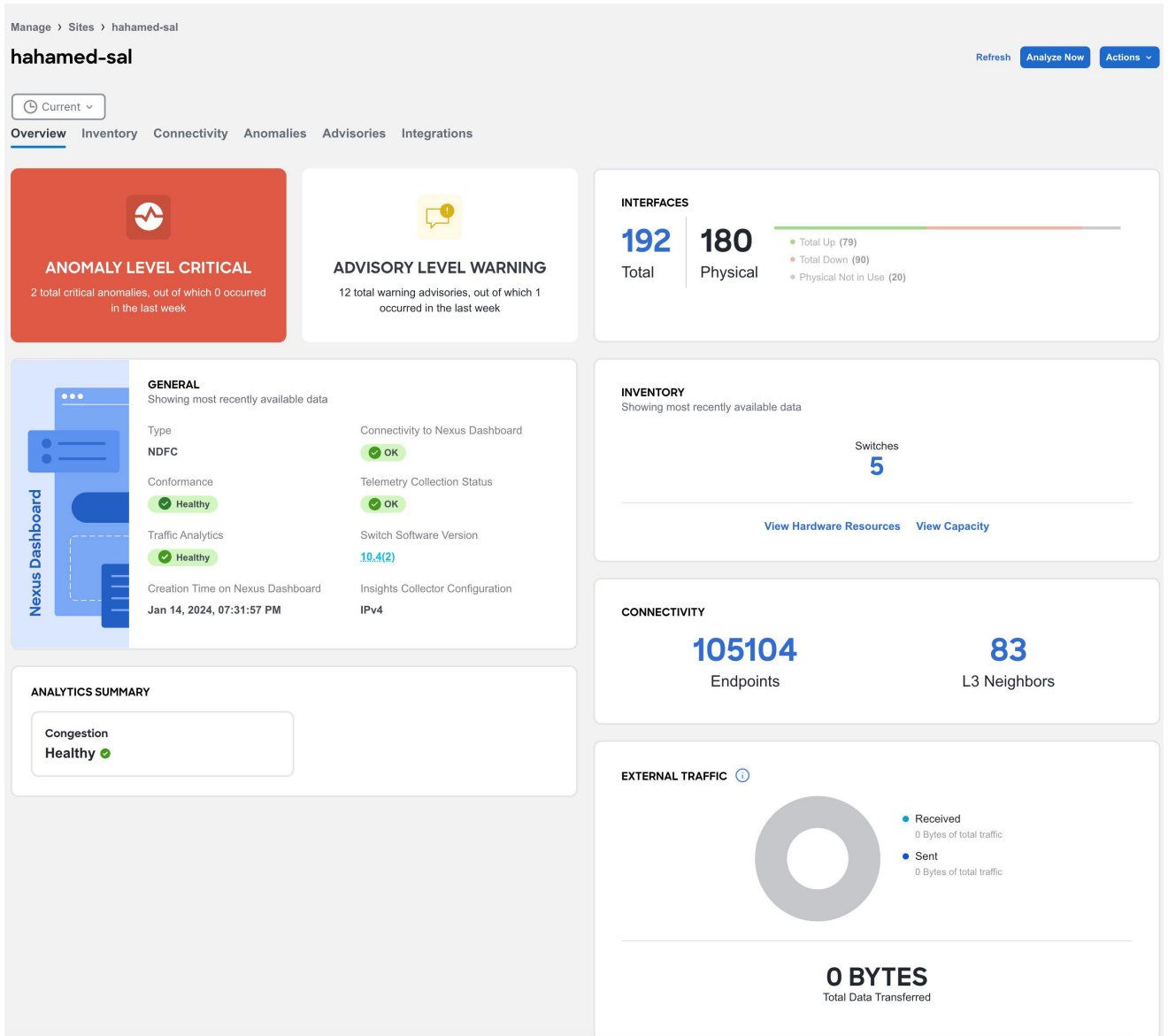
[サイト (Sites)] ページで、包括的なダッシュボード、シンプルなトポロジ、デバイスごとのサマリーなどを使用して、個々のファブリック、スイッチ、またはインターフェイスの詳細を確認します。異常とアドバイザリをサイトレベルで管理することもできます。

1. [管理 (Manage)] > [サイト (Sites)] に移動します。
2. ドロップダウン リストからオンラインまたはスナップショット サイトを選択します。
3. 検索バーを使用してサイトをフィルタリングします。[サイト (Sites)] テーブルには、サイト タイプ、接続ステータス、異常とアドバイザリ レベル、オンボーディング時間が表示されます。



Name	Anomaly Level	Advisory Level	Type	Connectivity to Nexus Dashboard	Software Version	Creation Time on Nexus Dashboard
Site2-50-switches	Critical	Critical	NX-OS	OK	9.3(9), 9.3(3) View More	Nov 21, 2023, 04:51:18 PM
Site1-100-Switches	Critical	Critical	NX-OS	OK	10.2(4), 10.2(4) View More	Nov 29, 2023, 01:59:04 PM
hahamed-teleixia-13	Critical	Critical	NDFC	Not OK	9.3(5)9.3(7)	Nov 28, 2023, 03:58:51 PM
hahamed-teleixia-12	Critical	Critical	NDFC	Not OK	9.3(5)9.3(7)	Nov 28, 2023, 03:38:51 PM
hahamed-teleixia-11	Critical	Critical	NDFC	Not OK	9.3(5)9.3(7)	Nov 28, 2023, 03:18:51 PM
hahamed-teleixia-10	Critical	Critical	NDFC	Not OK	9.3(5)9.3(7)	Nov 28, 2023, 02:58:51 PM

4. サイト名をクリックすると、そのサイトに関する詳細が表示されます。[時間の選択 (Time Selection)] ドロップダウン メニューから時間を選択します。すべてのセクションに、時間の選択とデータの可用性に基づいてデータが表示されます。デフォルトでは、現在の時刻が選択されています。
5. [概要 (Overview)] をクリックします。



- a. [異常とアドバイザリ (The Anomaly and Advisory)] 領域では、異常とアドバイザリ レベルのステータス、および上位のアノマリとアドバイザリ カテゴリのリストを表示できます。
 - i. サイトの異常のレベル、カテゴリ、およびカウントを表示するには、[異常 (Anomaly)] をクリックします。
 - ii. 異常名をクリックすると、追加の詳細が表示されます。
 - iii. [アドバイザリ (Advisory)] をクリックして、サイトのアドバイザリのレベル、カテゴリ、およびカウントを表示します。
 - iv. 異常名をクリックすると、追加の詳細が表示されます。
- b. [全般 (General)] 領域には、サイトのタイプ、使用されているソフトウェアバージョン、Nexus Dashboard への接続ステータス、適合ステータス、オンボーディング時間、テレメトリ ステータス、およびトラフィック分析ステータスが表示されます。フロー収集でトラフィック分析を有効にしている場合は、トラフィック分析のステータスを確認できます。「トラフィック分析」を参照してください。[全般 (General)] 領域で、ソフトウェアバージョンにカーソルを合わせ、[バグの表示 (View Bugs)] をクリックして、そのサイトのアクティブなバグと影響を受けやすいバグを表示します。「使用する前に」を参照してください。

テレメトリ収集ステータスは、ネットワーク内のスイッチとデバイスの正常性とパフォーマンスに関する洞察を提供します。サイトレベルのさまざまなテレメトリ収集ステータスには、次のものがあります。

- i. **OK** : このステータスは、すべてのスイッチから Nexus Dashboard Insights へのテレメトリ データ ストリーミングが正常に機能していることを示します。これは望ましい状態です。これは、ネットワークのパフォーマンスに対する包括的なモニタリングと可視性を保証するためです。
 - ii. **OK** : このステータスは、すべてのスイッチから Nexus Dashboard Insights へのテレメトリ データ ストリーミングが正常に機能していることを示します。これは、ネットワークの停止、設定の誤り、ハードウェアの障害など、さまざまな問題の結果として発生する可能性があります。
 - iii. **Partial OK** : このステータスは、すべてのスイッチから {CiscoNIRShortName} へのテレメトリ データ ストリーミングが一部のスイッチからは正しく機能していないが、他のスイッチからは正常に機能していることを示します。これは、スイッチ固有の問題や一部のスイッチの設定ミスなど、さまざまな要因によって引き起こされる可能性がある、ネットワーク内のテレメトリデータフローの不整合または部分的であることを示しています。
- c. **[外部トラフィック (External Traffic)]** 領域では、サイトが過去 7 日間に送受信した外部トラフィックを確認できます。ドーナツは、サイトで送受信されたトラフィックの量を表示するのに役立ちます。情報アイコンをクリックすると、外部トラフィックの詳細と、さまざまなタイプのサイトでの外部トラフィックの測定方法に関する詳細情報が表示されます。
 - d. **[インターフェイス (Interfaces)]** 領域に、サイトのインターフェイスの概要が表示されます。異常レベル、管理ステータス、動作ステータス、インターフェイス タイプなどの追加の詳細を表示するには、**[合計 (Total)]** をクリックします。インターフェイス名をクリックすると、追加の詳細が表示されます。
 - e. **[接続 (Connectivity)]** 領域で、エンドポイントと L3 ネイバーに関する詳細を表示できます。
 - f. **[インベントリ (Inventory)]** 領域で、サイトのコントローラとスイッチの概要を表示できます。
 - i. **[ハードウェア リソースの表示 (View Hardware Resources)]** をクリックして、サイトのハードウェア リソースを表示します。**[上位デバイス (Top Devices By)]** ドロップダウンリストからリソースをクリックして選択し、そのリソースのグラフを表示します。次の表で、スイッチごとのリソース使用率を確認します。スイッチ名をクリックすると、追加の詳細が表示されます。
 - ii. **[キャパシティの表示 (View Capacity)]** をクリックして、さまざまなリソースとその最大キャパシティと現在の使用状況を表示します。**[サイトの概要 (Site Summary)]** には、その週の傾向と、ファブリック全体のリソース別のキャパシティが表示されます。このサイトの各リソースの使用可能な合計キャパシティのうち、使用されているリソースの数が表示されます (たとえば、15000 のブリッジ ドメイン 2829)。パーセンテージは、使用されているリソースのパーセンテージを示します。**[スイッチの概要 (Switch Summary)]** には、スイッチごとのリソースのキャパシティの内訳が表示されます。グラフには、**[トップ スイッチ期限 (Top Switches By)]** ドロップダウン リストから選択したパラメータのタイムラインが表示されます。テーブルで、**[運用リソース (Operational Resources)]**、**[設定リソース (Configuration Resources)]**、または **[ハードウェアリソース (Hardware Resources)]** をクリックして、サイト内の各スイッチのキャパシティと使用状況を確認します。
 - g. **[分析概要 (Analytics Summary)]** 領域で、スイッチの輻輳スコアを表示できます。「**インベントリ (Inventory)**」を参照してください。
6. **[インベントリ (Inventory)]** をクリックして、サイトのコントローラとスイッチの情報を表示します。詳細については、「**インベントリ**」を参照してください。
 7. **[接続 (Connectivity)]** をクリックして、サイトのインターフェイス、エンドポイント、L3 ネイバー、vPC ドメイン、フローの詳細を表示します。詳細については、「**インベントリ**」を参照してください。Nexus Dashboard Insights リリース 6.3.1 以降では、サイトのマルチキャストルートの詳細も表示できます。「**マルチキャスト ルート**」を参照してください。

8. サイトのすべての異常を表示するには、[異常 (Anomalies)] をクリックします。詳細については、「[異常と アドバイザリ](#)」を参照してください。
9. [アドバイザリ (Advisories)] をクリックして、サイトのすべてのアドバイザリを表示します。詳細については、「[異常と アドバイザリ](#)」を参照してください。
10. [統合 (Integrations)] をクリックして、サイトに関連付けられているすべての統合を表示します。詳細については、「[統合](#)」を参照してください。
11. スナップショットサイトに添付されている ファイルの履歴を表示するには、[ファイル履歴 (File History)] をクリックします。ファイル名、ファイル サイズ、ファイルがアップロードされた日時、アップロード ステータス、および最後の分析が実行された日時が表示されます。



ファイル履歴は、スナップショット サイトに対してのみ表示されます。

- a. アップロードした最新のファイルである現在アクティブなスナップショットの場合は、[分析の実行 (Run Analysis)] をクリックして、同じスナップショット分析を再度実行できます。これは、追加の機能が含まれ、分析を再実行して、分析に含まれるようにする場合に便利です。
- b. 異なる時間間隔で同じサイトのスナップショット ファイルをアップロードすることもできます。[ファイルのアップロード (Upload File)] をクリックしてファイルをアップロードし、[分析の実行 (Run Analysis)] をクリックしてスナップショット分析を実行します。

マルチキャスト ルート

Nexus Dashboard Insights リリース 6.3.1 以降では、NDFC サイトのマルチキャストルートの詳細も表示できます。

[マルチキャスト ダッシュボード (Multicast Dashboard)] では、NDFC ファブリックに関する次の情報を表示できます。

- ・ トラフィック別の上位グループ
- ・ 受信者別の上位グループ

前提条件

Nexus スイッチで次のコマンドを実行したことを確認します。

```
switch(config)# hardware profile multicast flex-stats-enable switch(config)#  
  
multicast flow-path export  
  
switch(config)# copy running-config startup-config  
  
switch(config)# reload
```



変更を有効にするには、`copy running-config startup-config` and `reload` コマンドも実行する必要があります。

注意事項と制約事項

- ・マルチキャスト ルートは、Cisco NX-OS リリース 10.3(3)F 以降でのみサポートされます。
- ・マルチキャスト ルートは、クラシック VLAN ファブリックでのみサポートされます。
- ・マルチキャスト ルートは、IPv4 アドレスでのみサポートされます。
- ・サイトごとにサポートされるスケール制限：2000 マルチキャスト グループ、16000 S、G エントリ、8K ルーテッド インターフェイス。
- ・マルチキャストのファースト ホップ ルータまたはマルチキャスト送信元がファブリックの外部で設定されている場合、マルチキャスト ルートは UI に表示されません。

マルチキャスト ルートの表示

1. **[管理 (Manage)]** > **[サイト (Sites)]** に移動します。
2. ドロップダウン リストからオンラインまたはスナップショット サイトを選択します。
3. サイト名をクリックすると、そのサイトに関する詳細が表示されます。
4. **[接続 (Connectivity)]** > **[マルチキャストルート (Multicast Routes)]** を選択します。
5. **[マルチキャスト (Multicast)]** ページでは、マルチキャストグループ、このグループに送信する送信元、送信元ごとの送信レート、このグループの受信者数、VRF などの情報を表示できます。

Operate > Sites > Classic-Mcast

Classic-Mcast

Refresh Analyze Now Actions

Overview Inventory **Connectivity** Anomalies Advisories Integrations

Interfaces L3 Neighbors Endpoints vPC Domains **Multicast Routes** Flow Record History Flows

Filter

Multicast Group	Sources	Current Sender Bytes Rate	Current Sender Packets Rate	Average Sender Bytes Rate	Average Sender Packets Rate	Receivers	VRF
235.1.1.1	25.6.0.2	0 Bps	0 per second	0 Bps	0 per second	5	default
235.1.1.2	25.6.0.3	0 Bps	0 per second	0 Bps	0 per second	5	default
235.1.1.3	25.6.0.4	0 Bps	0 per second	0 Bps	0 per second	5	default
235.1.1.4	25.6.0.5	0 Bps	0 per second	0 Bps	0 per second	5	default
235.1.1.5	25.6.0.6	0 Bps	0 per second	0 Bps	0 per second	5	default
235.1.1.6	25.6.0.7	0 Bps	0 per second	0 Bps	0 per second	5	default
235.1.1.7	25.6.0.8	0 Bps	0 per second	0 Bps	0 per second	5	default
235.1.1.8	25.6.0.9	0 Bps	0 per second	0 Bps	0 per second	5	default
235.1.1.9	25.6.0.10	0 Bps	0 per second	0 Bps	0 per second	5	default
235.1.1.10	25.6.0.11	0 Bps	0 per second	0 Bps	0 per second	5	default

6. マルチキャスト グループをクリックすると、送信元と受信者の追加情報が表示されます。
 - a. **[送信元 (Sources)]** をクリックして、送信元 IP アドレス、スイッチ名、インターフェイスなどの情報を表示します。

Multicast Group Information for 235.1.1.1 as of the last hour

Sources Receivers

Filter by attributes

Source IP Address	Connected To	Interface	Current Sender Bytes Rate	Current Sender Packets Rate	Average Sender Bytes Rate	Average Sender Packets Rate	Receivers
25.6.0.2	C93180YC-FX	eth1/17	0 Bps	0 per second	0 Bps	0 per second	5

- b. スイッチ名、レシーバ数、稼働時間、L3 インターフェイスなどの情報を表示するには、**[受信者 (Receivers)]** をクリックします。

Sources **Receivers**

Filter by attributes						
Sources	Receiver(s)	Connected To	L3 Interface	Interface	Uptime	
25.6.0.2	5 →	C93360YC-FX2-1	vlan25	po501 po500	2d 9hr 53m 45s	
25.6.0.2	5 →	C93360YC-FX2-1	vlan26	po500 po501	2d 9hr 53m 45s	

サイトの操作

1. [管理 (Manage)] > [サイト (Sites)] に移動します。
2. サイトを追加するには、[サイトの追加 (Add Site)] をクリックします。「[サイトの追加 \(Add Sites\)](#)」を参照してください。
3. ドロップダウン リストからオンラインまたはスナップショット サイトを選択します。
4. サイト名をクリックすると、そのサイトに関する詳細が表示されます。

5. [アクション (Actions)] ドロップダウンメニューから、[サイトの編集 (Edit Site)] を選択してサイトの詳細を編集します。情報を更新し、[保存 (Save)] をクリックします。
6. [アクション (Actions)] ドロップダウンメニューから、[トポロジで表示 (View in Topology)] を選択して、サイトのトポロジを表示します。
7. [アクション (Actions)] ドロップダウンメニューから、[システム ステータス (System Status)] を選択して、サイトのデータ分析のステータスを表示します。「[使用する前に](#)」を参照してください。
8. Nexus Dashboard Insights からサイトを削除するには、次の手順を実行します。
 - a. [アクション (Actions)] ドロップダウン メニューから、[テレメトリ収集の一時停止 (Pause Telemetry Collection)] を選択してデータ収集を一時停止します。
 - b. [アクション (Actions)] ドロップダウン メニューから、[インサイトから削除 (Remove from Insights)] を選択してサイトを削除します。サイトは、Nexus Dashboard からではなく、Nexus Dashboard Insights からのみ削除されます。
9. [アクション (Actions)] ドロップダウン メニューから、[テレメトリ収集の再開 (Resume Telemetry Collection)] を選択してデータ収集を再開します。
10. オンデマンド分析を実行するには、[今すぐ分析 (Analyze Now)] をクリックします。Assurance、Bug Scan、Best Practices などのサービスを選択し、[今すぐ実行 (Run Now)] をクリックします。「[使用する前に](#)」を参照してください。

著作権

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザー側の責任となります。

対象製品のソフトウェア ライセンスと限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されており、この参照により本マニュアルに組み込まれるものとします。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

Cisco が採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティング システムの UCB (University of California, Berkeley) のパブリック ドメイン バージョンとして、UCB が開発したプログラムを採用したものです。All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよび上記代理店は、商品性、特定目的適合、および非侵害の保証、もしくは取り引き、使用、または商慣行から発生する保証を含み、これらに限定することなく、明示または暗黙のすべての保証を放棄します。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアルの中の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際の IP アドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

この製品のマニュアルセットは、偏向のない言語を使用するように配慮されています。このドキュメントセットでの偏向のない言語とは、年齢、障害、性別、人種的アイデンティティ、民族的アイデンティティ、性的指向、社会経済的地位、およびインターセクショナリティに基づく差別を意味しない言語として定義されています。製品ソフトウェアのユーザインターフェイスにハードコードされている言語、RFP のドキュメントに基づいて使用されている言語、または参照されているサードパーティ製品で使用されている言語によりドキュメントに例外が存在する場合があります。

Cisco およびCisco のロゴは、Cisco またはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

商標または登録商標です。シスコの商標の一覧は、<http://www.cisco.com/go/trademarks> でご確認いただけます。記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」という言葉が使用されていても、シスコと他社の間にパートナー関係が存在することを意味するものではありません。(1110R)。

© 2017-2024 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.